東京学芸大学附属高等学校 校長 大野 弘



# 東京学芸大学附属高等学校 第 20 回 公開教育研究大会のご案内

皆様方には、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本校では、第20回公開教育研究大会を以下のとおり開催いたします。新型コロナウィルス感染症の状況に鑑み、昨年同様オンラインで実施させていただくこととなりました。是非、多くの教育関係者の皆様にご参加いただき、ご意見、ご助言を賜りたく、ご案内申し上げます。

### 1. 主題

#### 「『学習評価』を軸としたカリキュラム・マネジメント(3)~観点別評価から考える教育活動の改善~」

本校では一昨年度より「『学習評価』を軸としたカリキュラム・マネジメント」を主な研究テーマに設定してきました。観点別評価が高等学校にも導入され、確かな学力を育成するために「学習評価」の更なる改善が求められています。本校が培ってきた指導と評価の方法を授業実践のかたちで公開し、学校全体の教育課程を有機的なものへと高めていきたいと考えています。

#### 2. 日時・内容

令和3年11月6日(土)

各教科の研究授業は、事前に撮影した動画を参加者の方に限定公開します。11月6日はオンラインで午前中に各教科の協議会を、午後に全体講演会を行います。

 $1000 \sim 1200$   $1200 \sim 1300$   $1300 \sim 1500$ 

各教科 研究協議会	昼休み	講演会
-----------	-----	-----

#### 公開授業 ※研究授業は動画配信します。視聴には事前申し込みが必要です。

教 科	科目	授業者	授 業 タ イ ト ル	授 業 概 要		
国 語	国語総合	金指 紀彦 塚越健一朗	「主体的に学習に取り組む態度」をどのように評価するか ~「現代の国語」「言語文化」 を想定して ~	観点別学習状況の評価における3つの柱「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」のうち、最も評価の仕方が難しいとされる「主体的に学習に取り組む態度」。来年度、第1学年で履修する「現代の国語」「言語文化」を想定してその評価を試みる。		
地理歴史	地 理	栗山 絵理	「地図や地理情報システムで捉 える現代世界」の充実	来る新課程の実施に向けて、観点別評価に配慮しながら、「地理総合」および「地理探究」の充実を見据えた授業実践を試行する。授業で活用した教材を参加者の皆さまに提供し、すぐに授業でお使いいただけるように工夫したいと思う。		
数学	数学A	祖慶 良謙	図形の性質	地震の震央とは地平面上における震源の真上の点であり、3つの観測 点を中心とし、震源距離を半径とする円の共通弦の交点として求めら れる。このことを数学的に解析することで、単元「図形の性質」で伸 ばしたい豊かな見方・考え方を養う授業を提案する。		
	化学	成川 和久	見出して理解する態度をどう評価するか―「有機化合物」の単元における観点別評価―	「有機化合物」の単元において、生徒にどのような資質・能力が身に 付いたかを観点別評価により明らかにする。具体的には「態度」に関 する評価方法に着目し、生徒の学習改善につなげるようにしたい。		
理科	生物基礎	大谷康治郎	学びを社会へつなげる態度をど う評価するか―「遺伝子とその はたらき」の単元における観点 別評価―	「遺伝子とそのはたらき」の単元において、生徒にどのような資質・ 能力が身に付いたかを観点別評価により明らかにする。具体的には 「態度」に関する評価方法に着目し、生徒の学習改善につなげるよう にしたい。		

保健体育	保健	松川 想	1学期のまとめ 一自身の生活習慣を改善する―	1年の1学期では、乱れた生活習慣が健康へ及ぼす悪影響や、個人や社会的な健康課題について学んできた。運動・食事・休養の3つの授業で個別に捉えてきた健康に関する知識を、自身の生活習慣を見直すなかで捉え直した上で再構築し、行動変容を起こすにはどうすれば良いか模索する。まとめとして、A4で3枚程度のレポートを作成する。
芸 術	音楽 I	居城 勝彦	PCを活用した創作活動〜相互批 評によるブラッシュアップ〜	五音音階、オスティナート、形式などの既習事項を使い、音楽ソフト を活用して各自が作品(集)の完成を目指す。相互に批評することで 音楽技法や作品の良さに気づき、自分の創作活動のブラッシュアップ を図る姿勢を育てたい。
	工芸 I	神田 春菜	素材を生かす工芸の表現を知る ~[木工]積層技法を生かした小 物置き(入れ)の制作~	新学習指導要領では表現及び鑑賞の学習においてそれぞれに必要な力として〔共通事項〕が位置付けられた。本題材ではぞれぞれの活動を相互に関連付け学習が深まることを目指した〔共通事項〕の指導のあり方を提案したい。
外国語(英語)	コミュニケ ーション 英語II	豊嶋 維	インタラクションを通した内容 理解	「英語を英語で理解する」ことを基本とし、教師と生徒のインタラクションの中で内容理解を深められるようにする。教科書本文の内容をその場では日本語を解さずに色々な表現を通してそのまま理解できることを目標とする。

#### 研究協議会 11月6日(土) 10:00~12:00

HUI JUWA HAKA	11 / 1 0 H (_L_/ 10.00 12.00			
教 科	研 究 テ ー マ	提案者	助言講師	所 属
国 語	「観点別学習状況の評価」の具体的イメージを持つ	金指 紀彦 塚越健一朗	松澤 直子	神奈川県教育委員会 指導部 高校教育課 専任主幹(教育指導担当)兼指導主事
地理歴史	教育現場での地理院地図の活用	栗山 絵理	岡谷 隆基	国土交通省国土地理院 地理地殻活動研究センター測量新技術研究官
数 学	観点別評価の充実と深い学びの実現に向けた単元計画	数学科	成田慎之介	東京学芸大学教職大学院准教授
理科	理科における観点別評価の実践 一主体的に学習に取り組む態度をどう評価するか―	理科	藤枝 秀樹	文部科学省初等中等教育局視学官
保健体育	保健における観点別評価について	松川 想	田中 滉至	九州共立大学スポーツ学部講師
芸術(音楽)	観点別評価を音楽の授業づくりにつなげる	居城 勝彦	中地 雅之	東京学芸大学教育学部音楽教育講座教授
芸術 (工芸)	美術、工芸における観点別評価	神田 春菜	横田 学	京都市立芸術大学名誉教授
外国語 (英語)	観点別評価を踏まえた英語の授業の進め方について	豊嶋 維	臼倉 美里	東京学芸大学英語科教育学分野准教授

## 講演会 11月6日(土) 13:00~15:00

テーマ 「都立高校における観点別学習状況の評価導入の現状と課題」

講 師 小林 靖 先生 (東京都教育庁指導部主任指導主事)

### 3. 後援 東京都教育委員会

#### 4. 参加申込

研究授業および講演会への参加申し込み受付は、本校 HP(http://www.gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp)で行います。 問い合わせは、下記までお願いいたします。

東京学芸大学附属高等学校

〒154-0002 東京都世田谷区下馬 4-1-5 TEL: 03-3421-5151 (代) FAX: 03-3421-5152

E-mail: gaku-ken@gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp 担当:研究部 松本 至巨